



Sound & Visual

-見栄え質感とサウンドデザインの調和-

製品差別化には、製品スペックを充実させる一方、ユーザーが現物の製品を初めて見て感じるフィット感、仕上がり感といった見栄えや、現物から発する「音」のオリジナル感など、感性に訴えたサウンドデザインが重要視されています。これらをテーマとして、国内外事例や、ゲスト講演など多彩なピックで開催いたします。

自動車技術の最先端企業によるゲスト講演

基調講演 世界の自動車開発現場を見て思う、日本が進むべき道

自動車評論家 牧野 茂雄様

素材や技術の進歩をいち早く自社商品に取り込みたい。しかし開発時間短縮は必須。いま、欧米では設計・試作だけでなく感性領域での煮詰めにシミュレーションを使いこなす例が増えています。欧米と中国で取材した現場は、私の想像をはるかに超えています。

ブランドイメージと情感表現を融合した“動的な光デザイン”

株式会社JVCケンウッド・デザイン

取締役/ソリューションデザインスタジオ チーフクリエイティブディレクター 篠原 司様
 アシスタント・プロジェクトリーダー 浦 航介様

車両内外装の個性を訴求する手法として光デザインへの期待が高まっています。SPEOSを用いた「動的な光デザイン」の展望と、ブランドイメージや情感表現、ユーザーエクスペリエンスに活かす研究事例を語ります。

牧野様 ご経歴

日刊自動車新聞社に約12年間勤務のち、三栄書房編集顧問、自動車雑誌「ニューモデルマガジンX」編集長を経て、フリーランスのジャーナリストとなりました。2006年より「モーターファン・イラストレイテッド」の技術アドバイザーとして、実質的なとりまとめを行っています。

浦様 ご経歴

ヤマハ発動機二輪デザイン開発に関わり、2002年同社入社。車載製品/HMIデザインに関わり15ロンドン滞在・英スポーツカーメーカーのHMIデザインを担当。現在は光デザインを用いたUX活用戦略を担っています。



TOKYO

5/15

火

会 期:2018年5月15日(火)

セミナー:14:00~19:00

懇親会:19:15~21:00

会 場:丸ビルホール&コンファレンススクエア
 (東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル8階)

NAGOYA

5/18

金

会 期:2018年5月18日(金)

セミナー:13:00~18:00

懇親会:18:15~20:00

会 場:JPタワー名古屋 ホール&カンファレンス
 (愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 KITTE名古屋3階)

最新技術、取り組みをご紹介 展示コーナー

・立体音響システム 体験ブース

トランスオーラル再生方式を採用し、多チャンネル化などGenesis独自の技術を用いた立体音響再生システムをご紹介します。本システムは感性評価にも適用することができ、よりリアルなサウンドを被験者に提供することが可能です。

・OPTIS&JVCケンウッド・デザイン社 共同プロジェクト発表

「2025年の車」「動く光のブランディング」をテーマに、両社では今年度から共同プロジェクトを進めています。JVCケンウッド・デザイン様の講演内ではお伝えしきれない内容を、展示ブースではご紹介いたします。

Agenda

Time Tokyo	Time Nagoya	Agenda
14:00	13:00	マルチセンサバーチャル評価の進め方 芳村 貴正 見栄え質感とサウンドデザインの調和が今後のインテリアスペックに求められるなかで短時間で高品質を生み出す3Dバーチャルテストと感性評価の進め方概要を説明します。
14:30	13:30	HUDとマルチセンサー開発におけるSPEOS新機能の活用 武田 伸一郎 SPEOSの新機能を活用したHUD開発における最適化/マルチコンフィグレーション検証手法と、カメラ及びLIDARの評価機能についてご紹介いたします。
15:00	14:00	内装材加飾パネル質感評価軸策定に向けた光学シミュレーションの活用 下村 将基 自動車内装材テクスチャの高級感を生み出すデザイン指針確立に向け、視覚的テクスチャの奥行き感の因子について定量化を行う手法をご紹介します。
15:30	14:30	コーヒーブレイク
16:00	15:00	SPEOSを使った光源混色実験器具の設計と試作 山辺 直 様々な色の光源を混ぜるとどう見えるのか、どの様に配置すれば良いのか、想像だけでは追いつかない事象を、SPEOSを使って設計した簡単な実験器具を通じて理解を深めます。
16:30	15:30	相関精度向上のためのOPTIS測定サービス 中島 涼輔 弊社では光学特性測定機 OMS4 を用いた測定サービスを行っております。OMS4で測定したデータの精度検証と、現在取り組んでいるサービスについてご紹介いたします。
16:50	15:50	Electric Vehicle Sound Design methodology and international market trends —EV車のサウンドデザイン方法論と各国の市場トレンド— Patrick Boussard / 廣澤 邦一 電気自動車は、能動的な音についていくつかの新しい音響課題を提起しています。Skat-VG EUの研究プロジェクト(2014-2016)などの世界的なEVサウンドデザインの経験や、自動車OEMとのコラボレーションなど、幅広い方法論に併せて、各国の市場トレンドについても取り上げます。
17:20	16:20	VRX NEXT バルコ株式会社 コントロールルーム・シミュレーション事業部 中村 星一 様 バーチャル分野の表示システムにおける市場動向から近年のトレンドを事例を交えてご紹介いたします。
17:40	16:40	ショートブレイク
18:00	17:00	ブランドイメージと情感表現を融合した“動的な光デザイン” 株式会社 JVCケンウッド・デザイン 篠原 司 様 / 浦 航介 様 車両内外装の個性を訴求する手法として光デザインへの期待が高まっています。SPEOSを用いた「動的な光デザイン」の展望と、ブランドイメージや情感表現、ユーザーエクスペリエンスに活かす研究事例を語ります。
18:30	17:30	世界の自動車開発現場を見て思う、日本が進むべき道 自動車評論家 牧野 茂雄 様 素材や技術の進歩をいち早く自社商品に取り込みたい。しかし開発時間短縮は必須。いま、欧米では設計・試作だけでなく感性領域での煮詰めにシミュレーションを使いこなす例が増えています。欧米と中国で取材した現場は、私の想像をはるかに超えていました。
19:00	18:00	アンケートご記入/会場退出

※発表内容、時間など一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承の程をよろしくお願いいたします。

お申込みはwebから、お早めのお申込みをおすすめします！

<https://marketing.optis-world.com/acton/media/17674/automotiveseminar2018>